



芦安中学校だより

第 10 号

校長 石原敬彦

2018. 3. 23

第71回卒業証書授与式

卒業生の前途に幸多からんことを

3月13日、多くの来賓の皆様のご列席を賜り、第71回卒業証書授与式を挙行了しました。当日は雲一つない快晴。春の訪れを実感できる日となりました。卒業生5名は「有終の美」を飾るにふさわしく、堂々と、礼儀正しく、真摯な態度で式に臨み、在校生も真心のこもった態度や言葉、歌声で応えました。はなむけの言葉として私からは、①対話をとおして自分の考えを深められる人に ②まず相手の話を最後までじっくりと聴くことができる人に ③自立して他者や社会に貢献できる人になってほしいとお話ししました。教育委員様から温かいお祝辞をいただき、PTA会長様からは、まさに愛情溢れる、保護者としての、そして芦安の先輩としての想いが込められたお言葉をいただきました。3年生の呼びかけ、合唱、全校合唱、在校生からの言葉、式の終盤では、3年生一人ひとりが将来への夢や自分の想いを語り、厳粛な中にも、温かさ溢れる卒業式とすることができました。



品格が感じられた卒業生一人ひとりの立ち居振る舞い



真心のこもった在校生からの送辞



教育委員様からのお祝辞



PTA会長様からのお祝辞



卒業生からの学年の先生方へのメッセージ



卒業生の呼びかけの最後をしめくくった答辞

芦安小学校の朝学習の時間に芦安中生が先生として参加しました。

小中一貫教育への橋渡しという意味合いも込めて、3月19日、芦安小の朝学習に芦安中全校生徒が参加しました。芦安小学校では一時間目の前に全校児童が多目的ホールに集まって学習する取り組みをずっと行ってきたとのこと、今回はそこに「先生」として芦中生が参加しました。採点のお手伝いをしたり、小学生の質問に答えたりしました。実際にやってみると、どの程度、またどのタイミングで支援してあげたらいいのか必ずかしく感じる場面もあったようです。それは小学生の立場になって、一方的に答えを教えたり、説明したりすることが本当の意味での支援にはならないということを各自が考えたからだと思っています。日々の学び合いの成果だと言えるでしょう。30分ほどの短い時間でしたが、熱心に課題に取り組む小学生の姿とそれを支えようとする中学生の優しく真摯な姿が印象に残りました。今後も継続していきたいと思っています。



まるつけをしています



なぜそうなるのか説明しています



小学生の質問を丁寧に聴きます

地域おこし協力隊のみなさまから卒業生に卒業祝いをいただきました

卒業式の前日の3月12日、地域おこし協力隊のみなさまが、卒業生のために学校林の枝打ちで出た間伐材でコースターを作ってください、贈呈してくださいました。使った材の年輪は15本、卒業生と同じ年齢だとのこと。美しく仕上げられたコースターの真ん中には、ライチョウの焼き印を入れてくださいました。



贈られたコースター 真ん中にライチョウの焼き印



卒業生一人ひとりに贈呈してくださいました

平成29年度修了にあたって 芦安中生のみなさんへ・・・

*シンガーソングライターの荒井由美さんが19歳の時にリリースしたファーストアルバム「ひこうき雲」のライナーノーツに載っていた詩。平成29年度の始業式でみなさんに紹介しました。その時、私は2つのことを生徒のみなさんに要望しました。①「なりたい自分」を心に描いて毎日を過ごしてください ②「なりたい自分」に近づくために悩んだり、失敗したりすることもあると思いますが、そんな時も がんばっている自分を好きになってください・・・ みなさんのこの一年間は、どうでしたか。改めて 卒業、進級おめでとうございます。